

るを確信し 資本家労働者共に分を辨へ 分を盡し  
一體となりて 産業の發展に貢献すべきを痛感する  
のであります 特に現下の如き時局に遭遇しては  
殊更斯く源を究め内を整へ 進んでは廣く世界に皇  
威を振張致さねばならぬと信じます 我が行詰まれ  
る産業界に於ても 純正なる勞資關係を確立すべき  
此の道義を無視しては 國家産業の發展は斷じて期  
待し得られませぬ 亦國家の産業を充實すること無  
くして労働者の幸福は決して企及し得られませぬ  
如斯自覺し實踐し來つて 今日益々其の誤なきを覺  
ゆると共に 國家非常の秋に際會し 産業に従事す  
る者齊しく亦非常の覺悟なかるべからず 依つて茲

に勞資一体の實を擧げ 惹いては國家産業の振興に  
資せんが爲 我等の抱持せる全國産業労働會議を  
根本且緊急國策の一つとして 審議し實施せられん  
ことを建議する次第であります  
希はくば 我等の微衷を諒せられんことを

昭和八年十二月十四日

日本産業労働俱樂部

理事長 石 井 熊 藏